

平成 29 年度

(2017 年度)

事業計画書

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 映像産業振興機構

平成 29 年度事業計画

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

1. 事業実施の方針

平成 29 年度におきましても、コンテンツ産業全体の振興に向けた事業を推進してまいります。当機構の母体であります、映画、音楽、放送、アニメーション、ゲーム等のコンテンツ産業に係る人材育成支援、海外市場開拓促進という 2 本柱を堅持して、わが国のコンテンツ産業の国際競争力を高めるため、関係企業、団体、職能者組織と連携を図ります。また、政府、地方公共団体による政策、施策を有機的に組み合わせて、より具体的な事業を実施してまいります。また、平成 28 年 12 月に受託致しました「コンテンツグローバル需要創出基盤整備事業費補助金」(コンテンツ等海外展開支援事業(J-LOP4))及び「コンテンツ等流通促進事業」)を実施して参ります。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に関する事業

① 人材育成事業

- ・ 短篇映画製作による若手映画作家育成事業 (ndjc)
- ・ 京都映画企画市(京都府)
- ・ VIPO アカデミーの運営
- ・ 各種セミナー、ワークショップ(有料、無料)の運営
- ・ AFI(American Film Institute)への日本人留学生の推薦事業

② 内外市場整備事業

- ・ コ・フェスタ (JAPAN国際コンテンツフェスティバル) の運営
- ・ コンテンツグローバル需要創出基盤整備事業費補助金 (経済産業省平成 28 年度補正予算)

1) コンテンツ等海外展開支援事業 (J - L O P 4)

コンテンツ等の海外展開を行う際のローカライズ及びプロモーションを行う事業に係る事業に対して、その費用負担を軽減するため、当該事業を主体となって実施する企業・団体に必要経費の一部を助成します。

2) コンテンツ等流通促進事業

権利関連情報を集約化するデータベースを活用した海外展開セミナーやビジネスマッチング、本事業の周知広報等を通じてコンテンツ等の流通を促進します。

- 先進コンテンツ技術による地域活性化促進事業費補助金(経済産業省平成 29 年度予算)
VR (仮想現実) /AR (拡張現実) やドローン、AI 等の先進的なコンテンツ制作技術や表現技術を用いて、地域に関する製品・サービス、観光、スポーツ等の魅力をプロモーションし、地域活性化に資するコンテンツを制作する事業に係る費用負担に対して、必要経費の一部を助成します。
- JAPACON/JACC の利活用促進
- その他、J-LOP 及び J-LOP+、JLOP の知見を活かした事業の検討、実施 (ビジネスマッチング、コンサルティング、海外プロモーション等)

③ 調査研究事業

- 政策検討委員会等の (再) 構築

④ 交流促進事業

- 京都国際マンガ・アニメフェア (京まふ漫画賞)
- 海外の同様の機関等と交流の推進 (KOCCA 等)
- ジャパンアンバサダー事業

(2) その他事業

- ndjc フォローアップ事業 (配信、特別上映、城戸賞交流会等)
- その他各省庁からのコンテンツ関連の受託事業

以上